

生命地域ラボ「地域の方と意見交換しよう！」

■対象：高校生・大人 ■人数：13（高校生8大人5） ■時間：2時間 ■手法：ブレインストーミング・ワールド・カフェ

学習のねらい

- ・ディスカッションを通して地域の大人と交流する
- ・社会問題について、自分の意見を語れるようになる
- ・多様な意見を受け入れることで、他者を尊重する態度を養う

時間	学習の流れ	留意点	準備物
	<p>【はじめに】</p> <p>今日は、高校生と地域の大人がざっくばらんに交流できればと思っています。高校生からの要望で実現しました。お互い緊張していると思うので、まずは簡単な自己紹介から始めましょう。</p>	くじで決まった席につく	くじ
10分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名前 ・普段何をしているか ・好きな動物もしくは好きな花 		
40分	<p>《はじめにルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【中心のワーク】</p> <p>話し合い1</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 生命地域について説明を聞く ② 他地域の問題を知る ③ 各班で、個人でできること、町の施策でできること、どの支店で考えるか決める ④ 思いついたアイデアを付箋に書き出す ⑤ 付箋を模造紙に貼るとき、軽く説明する ⑥ ワールドカフェで他のグループの意見を聞く ⑦ ファシリテーターのまとめを聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ・飯南町は生命地域であると説明 ・都市部の外来種や環境汚染の例を示す ・〈テーマ〉生命地域を残していくために何をすべきか？ ・他者の意見を否定しない ・便乗OK ・意見が止まったとき→自己紹介で話した動物や花を保護していくには？ ・ワールドカフェは高校生を1人残して回転 ・ファシリテーターが話の流れを見て感想をしゃべる 	ふせん 油性ペン 模造紙
40分	<p>話し合い2</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 新聞記事を見て、感想を共有する ② なぜ投票率が低いのか議論する ③ どうすれば投票率が上がるのか考える ④ 高校生が全体に議論を共有する 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事「投票のやり方を覚えてね」 ・記事を読んでもらう ・議論を促す ・高校生の意見が出なくなったら大人に振る 	新聞のコピー 付箋 模造紙 油性ペン

20分	【ふり返りと分かち合い】 まだ全体に向かって話していないが感想を話す 大人の感想を聞く（1～2名）		
	【おわりに】	今日をきっかけに、地域と高校生が繋がっていけると良いですね。ありがとうございました。	

小さな田舎からの『生命地域』宣言

飯南町は、小さなまちです。しかし、生命溢える源流があります。美しい里山があります。そして、これらの恵みを活かした日々の営みが守られてきました。

私たちは、この小さなまち飯南町が、豊かな資源をもった生命の源『生命地域』であるとの誇りをもち、「小さな田舎からの『生命地域』宣言」を基本理念として、いきいきと生命満ち溢れる郷土の実現に向けたまちづくりを進めていきます。



話し合いテーマ 1

今後、次世代に「生命地域」を残していくために、何をすることが必要だと思いますか？

- ①個人でできること
- ②町の施策としてできること
- ③地域企業ができること

話し合い 2

7/10 参議員選挙 投票率

52.05%

- ・記事の感想
- ・なぜ投票率が低いのか？
- ・どうすれば投票率が上がるか？

